

Doxygenでクラス図の表示

[\[Windows\] Doxygenをインストールして使う | The modern stone age](#). 上記を参考に。

↓これを出力先とかいい感じに変えて使って

Doxyfileの設定

項目名	意味	設定例
PROJECT_NAME	プロジェクト名	"Knuckle Fighter Maniax"
OUTPUT_DIRECTORY	ドキュメントの出力先	"C:\My Program\doxygen"
OUTPUT_LANGUAGE	出力言語	Japanese
FULL_PATH_NAMES	出力ファイル名をフルパスにする	NO
OPTIMIZE_OUTPUT_FOR_C	C言語に最適化	YES
EXTRACT_ALL	全てを展開	YES
INPUT	ソースファイルのパス	"C:\My Program"
INPUT_ENCODING	ソースファイルの文字コード	SHIFT_JIS
FILE_PATTERNS	対象とするファイル	*.cpp *.h
RECURSIVE	サブディレクトリーも含める	YES
VERBATIM_HEADERS	ドキュメントにヘッダーを引用	NO
GENERATE_TREEVIEW	ツリービューの利用	YES
ENUM_VALUES_PER_LINE	列挙型を行に並べる数	1
GENERATE_LATEX	LATEX版の出力	NO

Graphviz関係の設定

項目名	意味	設定例
HAVE_DOT	dotツールの有無	YES
DOT_NUM_THREADS	グラフ生成時のスレッド数	4
UML_LOOK	継承図をUML風にする	YES
CALL_GRAPH	呼び出し依存関係図の生成	YES
CALLER_GRAPH	呼び出し元依存関係図の生成	YES
DOT_PATH	dotツールの位置	"C:\Program Files\Graphviz\bin"
設定項目	説明	
---	---	
OUTPUT_DIRECTORY	ドキュメントの出力ディレクトリ。	
OUTPUT_LANGUAGE	ドキュメントの出力言語。	
OPTIMIZE_OUTPUT_JAVA	Java向けに出力を最適化するかどうか。	
EXTRACT_ALL	全てのメンバーを抽出するかどうか。	
EXTRACT_PRIVATE	プライベートメンバーを抽出するかどうか。	
EXTRACT_PRIV_VIRTUAL	プライベートな仮想メンバーを抽出するかどうか。	
EXTRACT_PACKAGE	パッケージメンバーを抽出するかどうか。	
EXTRACT_STATIC	スタティックメンバーを抽出するかどうか。	
EXTRACT_LOCAL_CLASSES	ローカルクラスを抽出するかどうか。	
INPUT	ソースファイルの入力ディレクトリ。	
RECURSIVE	入力ディレクトリを再帰的に検索するかどうか。	
REFERENCED_BY_RELATION	被参照関係を生成するかどうか。	
REFERENCES_RELATION	参照関係を生成するかどうか。	

項目名	意味	設定例
ALPHABETICAL_INDEX	アルファベット順の索引を生成するかどうか。	
GENERATE_LATEX	LaTeX形式のドキュメントを生成するかどうか。	
UML_LOOK	UMLスタイルの図を生成するかどうか。	
UML_LIMIT_NUM_FIELDS	UML図に表示するフィールドの最大数。	
TEMPLATE_RELATIONS	テンプレートの関係を表示するかどうか。	
CALL_GRAPH	呼び出しグラフを生成するかどうか。	
CALLER_GRAPH	呼び出し元グラフを生成するかどうか。	
DOT_IMAGE_FORMAT	DOTグラフの出力フォーマット。	
DOT_GRAPH_MAX_NODES	DOTグラフに表示する最大ノード数。	

⊙Revision #3

★Created 7 June 2025 11:51:17 by 西川和樹

✎Updated 12 June 2026 16:40:35 by 西川和樹